

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齢化問題

課題・問題点の背景・理由

- ・地域活動の若者参加が年々減少しており、ちびっこ広場等の草刈りが困難。
- ・買い物難民増加。
- ・若い時は気づかなかった歩道等の高齢者対策が遅れている。
- ・高齢者孤立化のサポートを健康、介護、防災の観点で整備促進していかなければならない。(防災台帳を作成中)
- ・団地内の病院施設の充実が今一つ。

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

歩道整備と団地の建て替え(萩山台は駐車場整備を選択したとの事であるが住民周知が不十分と感じる)

・住民が気軽に楽しめる居場所づくり。(ニーズ把握が必要)
 ・みんなの会を促進させ情報発信をさらにしていく。
 ・住民バスの更なる充実(*運転者1時間500円は安すぎる！行政が補助を出す

関係する常任委員会

総務生活委員会
 厚生文教委員会
 都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

歩道等の高齢者対策について、担当課は危険個所の調査を全市で順次行っており、萩山台も取り掛かっていくとのこと。予算の関係もあり、利用者が多い地点から改善の要望があれば、地元聞き取りも検討していく。町内会や自治会で協議の上での要望が有効ではないか。

団地建て替えに関して、現在のところ建て替えの予定は皆無である。地域住民合意の上で地域団体が県へ要望を提出するなどの働きかけをしていき将来像を地元、県、市で共有していく。本市においても団地の活性化には建て替えが有効であると認識している。

住民バスの人件費について、現在市は負担金を一定金額拠出しており、他地域との公平性を担保するため増額は検討していない。住民バスとして持続的な仕組みづくりの為、運転者のみなさんや利用者の住民への定期的な意識確認が必要と考える。

みんなの会の活性化は団地再生に多面的な効果をもたらすと捉え、より多くの住民が関わっていただける体制づくりが(地域のハブ機能)必要であると担当課も認識している。団地内の医療施設充実の必要性は認識しているが、解消案として引き続き団地の活性化を図り、医療ニーズを向上させていくことが必要と考える。

小学校統合と小中一貫教育推進といった教育の充実を推進し、特に若い世代の人口増に繋げていく。高齢者孤立化のサポートに関しては地域包括ケアシステムの更なる推進深化を、議会質問等を通じて積極的に働きかけ整備推進に繋げていく。地域防災に関しては地域防災マップの作成と今後の活用推進を、決算審査を通じ提言した。

人口増や居住誘導施策を遂行していく為に菱野団地は適地である。施策推進の為に、住環境の向上は今後も必須事項であり、持続的な働きかけが必要と考える。

【補足】

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齡化問題

課題・問題点の背景・理由

- ・地域活動の若者参加が年々減少しており、ちびっこ広場等の草刈りが困難。
- ・買い物難民増加。
- ・若い時は気づかなかった歩道等の高齡者対策が遅れている。
- ・高齡者孤立化のサポートを健康、介護、防災の観点で整備促進していかなければならない。(防災台帳を作成中)
- ・団地内の病院施設の充実が今一つ。

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

歩道整備と団地の建て替え(萩山台は駐車場整備を選択したとの事であるが住民周知が不十分と感じる)

・住民が気軽に楽しめる居場所づくり。(ニーズ把握が必要)
 ・みんなの会を促進させ情報発信をさらにしていく。
 ・住民バスの更なる充実(*運転者1時間500円は安すぎる！行政が補助を出す

関係する常任委員会

総務生活委員会
 厚生文教委員会
 都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

現状

高齢者が地域で自分らしく過ごせるように、地域包括ケアシステムの推進や各種支援を展開とともに、高齢者見守りシステムの導入や一人暮らし高齢者の新たな移動手段の検討などを実施している。

また、認知症当事者やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来る支援を展開していく。

議会の対応等

住民同士がお互いに助け合える地域づくりを行うために、「見守り」などの生活支援実施が行われている。

今後ますます高齢化が進むと予想されることから、見守りサービスや介護施設の種類と数を充実させていく必要があると考える。一人暮らしをしている高齢者が社会との接点を持ち続けられるよう、グループ活動を行いやすくするための体制や環境作りも課題である。

高齢化社会対策は、単なる高齢者対策にとどまらず、高齢者が多数存在する社会のシステムをどう構築していくかという観点から推進する必要がある、福祉や医療のみならず、健康、雇用、生きがい、コミュニティ、ボランティア、まちづくり、住宅等広範囲にわたり、かつ、長期的な対応が求められる。

【補足】

せとまちトーク進捗管理シート

萩山台 連区

テーマ

高齡化問題

課題・問題点の背景・理由

- ・地域活動の若者参加が年々減少しており、ちびっこ広場等の草刈りが困難。
- ・買い物難民増加。
- ・若い時は気づかなかった歩道等の高齡者対策が遅れている。
- ・高齡者孤立化のサポートを健康、介護、防災の観点で整備促進していかなければならない。(防災台帳を作成中)
- ・団地内の病院施設の充実が今一つ。

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

歩道整備と団地の建て替え(萩山台は駐車場整備を選択したとの事であるが住民周知が不十分と感じる)

・住民が気軽に楽しめる居場所づくり。(ニーズ把握が必要)
 ・みんなの会を促進させ情報発信をさらにしていく。
 ・住民バスの更なる充実(*運転者1時間500円は安すぎる！行政が補助を出す

関係する常任委員会

総務生活委員会
 厚生文教委員会
 都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

高齢者の外出支援、買い物支援は、住民バスの更なる充実を促進していくことの中なかで、運転手の報酬に対する要望であるが、

① 住民バスの運営費で賄うためにはどのような手立てがあるか

② 菱野団地自治会の対応はどうか

③ ①②を踏まえた上で、市の補助は可能か

など、相互間の話し合いが必要。

その上で、議会としては、市全体の公共交通のあり方や、自動運転バスなどの先進事例について、調査研究をしていきたい。

【補足】